

米軍基地環境カルテ

屋嘉訓練場（施設番号：FAC6116）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目 次

14. 屋嘉訓練場（施設番号：FAC6116）	14-1
14.1 基本情報	14-1
14.1.1 名称	14-1
14.1.2 所在地、広さ（施設面積）	14-1
14.1.3 施設の概要等	14-1
14.1.4 施設の管理及び用途	14-1
14.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	14-1
14.1.6 土地利用規制図	14-2
14.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	14-2
14.2.1 基地等の土地の状況	14-2
14.2.1.1 地形分類図	14-2
14.2.1.2 表層地質図	14-2
14.2.1.3 土壌図	14-2
14.2.1.4 切盛土分布図	14-2
14.2.2 基地内の施設の使用状況	14-2
14.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	14-2
14.2.2.2 施設等使用履歴	14-2
14.3 基地等の環境状況	14-2
14.3.1 自然環境（植物）	14-2
14.3.1.1 現存植生図	14-2
14.3.1.2 植生自然度図	14-3
14.3.1.3 特定植物群落	14-3
14.3.1.4 重要な種、貴重な種等	14-3
14.3.2 自然環境（動物）	14-3
14.3.2.1 重要な種、貴重な種等	14-3
14.3.3 水利用状況	14-4
14.3.3.1 水利用状況	14-4
14.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	14-5
14.3.3.3 河川及びダムの分布状況	14-6
14.3.4 地下水の状況	14-6
14.3.4.1 地下水基盤面等高線図	14-6
14.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	14-6
14.4.1 事故等の概要	14-6
14.4.2 事故等発生場所	14-7
14.5 環境調査を実施する場合の留意事項	14-7
14.6 その他情報	14-7

14.7 環境等に関する通常監視について	14-7
----------------------------	------

14. 屋嘉訓練場（施設番号：FAC6116）

14.1 基本情報

14.1.1 名称

屋嘉訓練場（施設番号：FAC6116）

14.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和47年5月15日>

所在地：金武村字屋嘉

広 さ：約2,036千㎡

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15メモ等）（仮訳）」（1972年5月）

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf) を参照

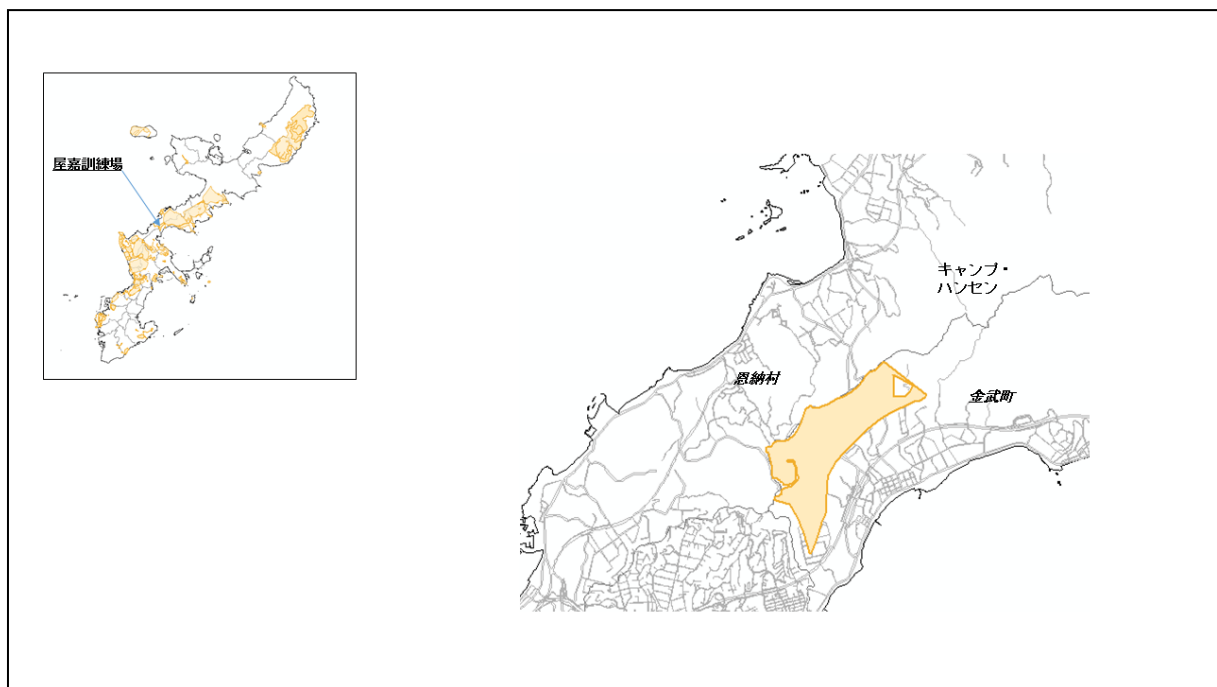


図 14-1 屋嘉訓練場の位置図（昭和47年時）

14.1.3 施設の概要等

昭和49年3月31日、全部返還。

14.1.4 施設の管理及び用途

昭和49年3月31日、全部返還。

14.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

返還跡地は農地開発事業が実施され、農用地として利用されている。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成25年3月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

14.1.6 土地利用規制図

屋嘉訓練場跡地及び周辺の土地利用規制図を図面集「土地利用規制図B」に示す。

14.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

14.2.1 基地等の土地の状況

14.2.1.1 地形分類図

屋嘉訓練場跡地及び周辺の地形分類図を図面集「地形分類図B」に示す。

14.2.1.2 表層地質図

屋嘉訓練場跡地及び周辺の表層地質図を図面集「表層地質図B」に示す。

14.2.1.3 土壌図

屋嘉訓練場跡地及び周辺の土壌図を図面集「土壌図B」に示す。

14.2.1.4 切盛土分布図

屋嘉訓練場跡地の切盛土分布図は作成されていない。

14.2.2 基地内の施設の使用状況

14.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

屋嘉訓練場の施設配置図は確認できなかった。

14.2.2.2 施設等使用履歴

昭和 33 年 10 月 金武村長と米軍との間の直接契約により、米海兵隊の演習場として使用が開始されたが、ほとんど使用されず遊休化していた。

昭和 47 年 5 月 15 日 「屋嘉訓練場」として提供開始（使用主目的：訓練場）。

昭和 49 年 3 月 31 日 全部返還。

出典：「沖縄の米軍基地関係資料」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部渉外課）、
「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部軍用地転用対策室）、
「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

< 主要建物及び工作物 >

建 物：－

工作物：－

出典：「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部軍用地転用対策室）を参照

14.3 基地等の環境状況

14.3.1 自然環境（植物）

14.3.1.1 現存植生図

屋嘉訓練場跡地及び周辺の現存植生図を図面集「現存植生図B」に示す。

14.3.1.2 植生自然度図

屋嘉訓練場跡地及び周辺の植生自然度図を図面集「植生自然度図B」に示す

14.3.1.3 特定植物群落

屋嘉訓練場跡地及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年3月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

14.3.1.4 重要な種、貴重な種等

屋嘉訓練場跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）は確認できなかった。

出典：「～平成27年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

14.3.2 自然環境（動物）

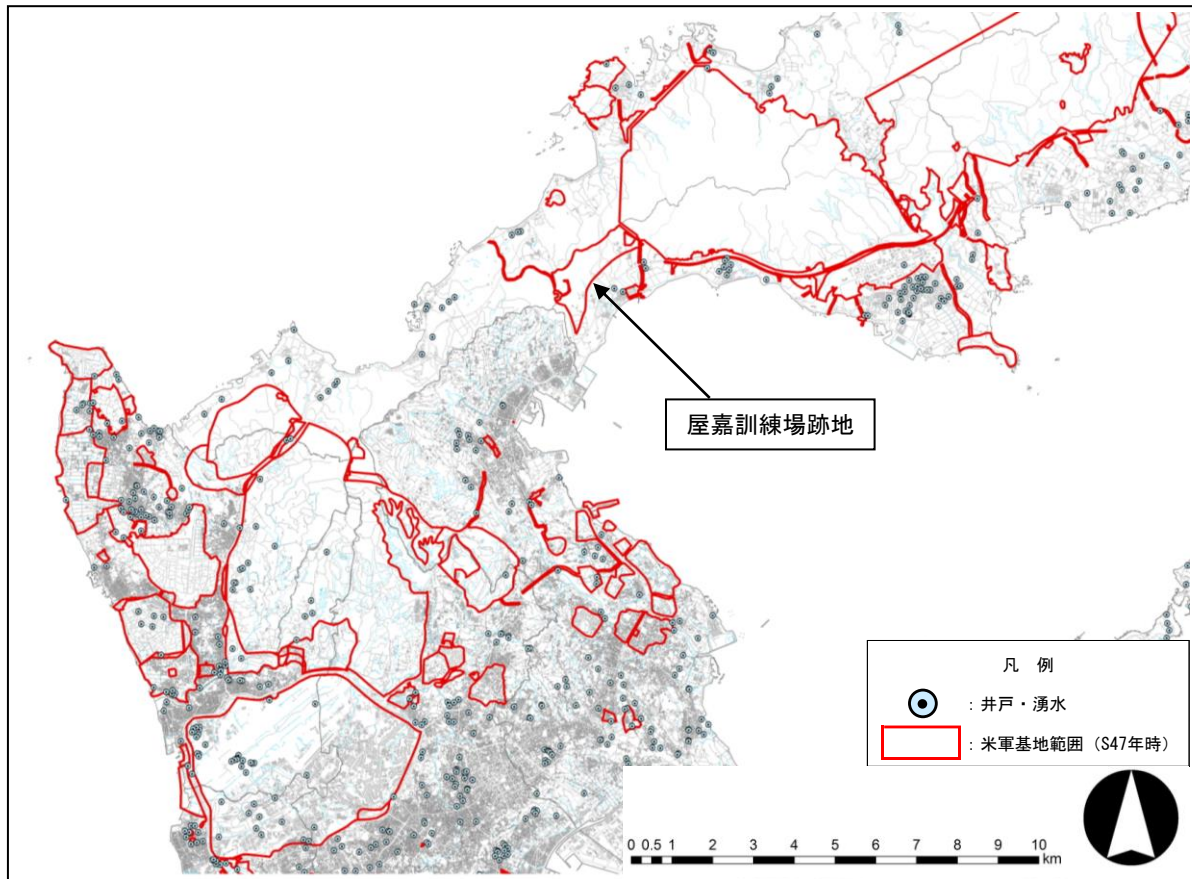
14.3.2.1 重要な種、貴重な種等

屋嘉訓練場跡地のある金武町で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は39種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針〔沖縄島編〕」（平成10年2月、沖縄県環境保健部自然保護課）を参照

14.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

屋嘉訓練場跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 14-3 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平成 29 情使、第 269 号）」

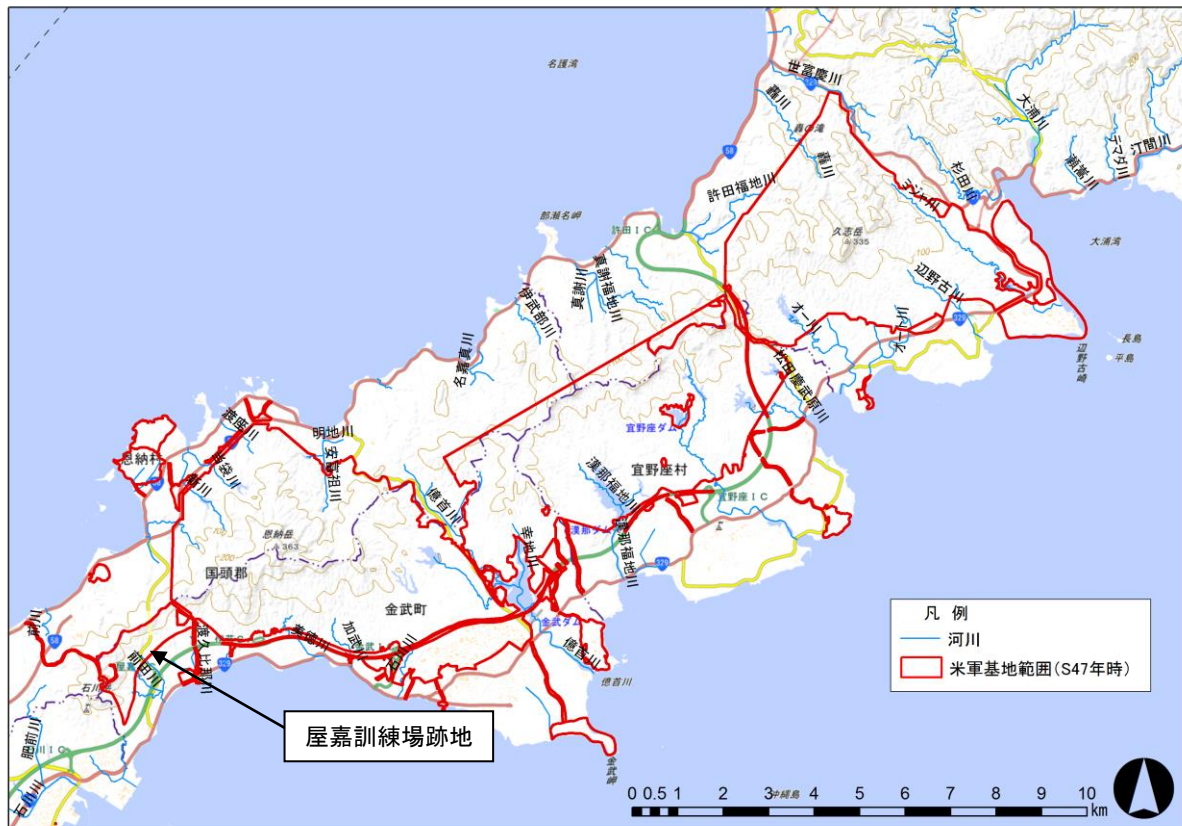
注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 14-3 屋嘉訓練場跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況

14.3.3.3 河川及びダム分布状況

屋嘉訓練場跡地及び周辺の河川、ダム分布状況を図 14-4 に示す。屋嘉訓練場跡地及び周辺に、二級河川、準用河川、国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、第 301 号）」
 出典：「国土地理院地図（平成 29 年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、
 「沖縄の米軍基地関係資料（地位協定に基づく提供施設）」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部）、
 「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部）を参照

図 14-4 屋嘉訓練場跡地及び周辺の河川、ダム分布状況

14.3.4 地下水の状況

14.3.4.1 地下水基盤面等高線図

屋嘉訓練場跡地及び周辺の地下水基盤面等高線図は作成されていない。

14.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

14.4.1 事故等の概要

屋嘉訓練場及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の情報は、「沖縄の米軍基地」（沖縄県）、「環境白書」（沖縄県）では確認できなかった。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 15 年 3 月、沖縄県基地対策室）、
 「沖縄の米軍基地」（平成 20 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
 「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
 「環境白書【平成 24 年度報告】」（2014、沖縄県環境部環境政策課）、
 「環境白書【平成 25 年度報告】」（2015、沖縄県環境部環境政策課）、
 「環境白書【平成 26 年度報告】」（2016、沖縄県環境部環境政策課）を参照

14.4.2 事故等発生場所

屋嘉訓練場及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

14.5 環境調査を実施する場合の留意事項

特になし。

14.6 その他情報

特になし。

14.7 環境等に関する通常監視について

屋嘉訓練場及び周辺において、沖縄県による環境等に関する通常監視は行われていなかった。

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、

「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、

「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照

